

2011年8月26日
住友化学株式会社

「マラリア・ノー・モア」とハリウッド俳優デイヴィッド・アークエット氏の
マラリア予防コラボ企画への協賛

住友化学は、このたび「マラリア・ノー・モア (Malaria No More)」がハリウッド俳優デイヴィッド・アークエット (David Arquette) 氏と実施しているマラリア予防コラボ企画へ、2万5千ドルを上限としてマッチング寄付することを決定いたしました。

「マラリア・ノー・モア」は、「マラリアによる死者を無くす」ことを目的に、2006年12月に設立された米国の非営利団体です。企業等に支援を呼びかけ、アフリカで蚊帳の配布やマラリア予防教育等を実施するほか、広くマラリアに関する啓蒙活動を行っています。

デイヴィッド氏は8月初旬、「マラリア・ノー・モア」の招きでセネガルを訪問し、マラリアの状況を視察しました。アフリカでは毎日1,800名の子供たちがマラリアが原因で亡くなっています。同氏は、そうした事態の改善に役立てるため、アメリカに帰国後、自身の40歳の誕生日(9月8日)までに4万ドルを集めることを目標とした募金活動をオンライン上で始めました(“David Arquette’s Birthday Giveback” campaign: www.Crowdrise.com/ArquetteGiveBack)。集められた募金は、「マラリア・ノー・モア」に寄付され、アフリカにおけるマラリア予防活動に使用されます。

住友化学は、マラリア予防用の蚊帳「オリセット®ネット」を製造し、アフリカを中心に供給するほか、これまでマラリア予防を目的とするさまざまな活動の支援を行ってきました。「マラリア・ノー・モア」の活動については、2007年に「オリセット®ネット」11万張りの寄付を行ったほか、2010年には、ワールドカップ南アフリカ大会開催に合わせて実施されたマラリア予防キャンペーンに協賛しています。そうした経緯から、今回のマラリア予防コラボ企画の趣旨にも賛同し、集められた募金金額に対し、2万5千ドルを上限としてマッチングで寄付することとしたものです。

住友化学は今後も関係機関との連携を図りながら、マラリア予防の取り組みを積極的に支援してまいります。

以上